

同志社大学

2010年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2011年 3月 17日提出

所 属	職 名	氏 名
グローバル・スタディーズ研究科	教授	太 田 修
研 究 題 目	解放後の在日コリアンの法的地位問題研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究の基礎を築くために、2010年度は、全般的な資料調査・収集と分析を進めてきた。これまでの研究成果の概要は以下のとおりである。</p> <p>a. 先行研究を調査・収集し、検討する。 主な先行研究は、ほぼ調査、収集でき、検討作業も進めている。</p> <p>b. 日韓外交文書だけではなく、ほかの資料も調査、収集する。 国会図書館憲政資料室、学習院大学東洋文化研究所、神戸市立図書館内青丘文庫などに所蔵されている資料を調査、収集できた。</p> <p>c. 新しく公開された日韓外交文書の中から、在日コリアンの法的地位問題に関連する資料を抽出、整理、分析する。 現在、韓国外交文書、日本外交文書ともに、1951年末までの資料整理、分析が終わり、1952年の資料整理、分析作業を行っているところである。</p> <p>なお、この研究に関連して以下のような研究報告、および論文を執筆した。</p> <p>(1) 研究報告</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「'4 월혁명' 과 일본」 「4 월혁명 50 주년 기념 학술대회-4.18 고대 행동과 4 월혁명을 통해 조망하는 21 세기-」 (「4 月革命と日本」 「4 月革命 50 周年記念学術大会-4・18 高大行動と4 月革命を通して照明する 21 世紀-」) / 主催：高麗大学校・ 4 月革命高大 / 場所：高麗大百周年記念 サ ム ソ ン 館地下1階国際会議室 / 2010年4月17日・ 「植民地支配批判としての「null and void (無効)」論」 / 国際高麗学会日本支部第14回学術大会 / 場所：立命館大学朱雀キャンパス / 2010年6月13日	

・「二つの講和条約と初期日韓国交正常化交渉における植民地主義」／同志社大学人文科学研究所第17期研究会・第9研究班「＜ポスト比較＞の植民地主義研究：国際研究の基盤構築に向けて」／2010年7月31日・8月1日
・「戦後日韓交渉における植民地支配問題－「null and void」論を中心に」／International Symposium「日韓相互認識－移動と視線 1910 - 2010」／主催：東北亜歴史財団・人間文化研究機構・国際日本文化センター／場所：国際日本文化研究センターセミナー室1／2010年12月19日

(2) 研究論文、その他

・ 「4 월혁명’ 과 일본」『史叢』71、2010.9、197-220 号（「4 月革命」と日本）『史叢』＜高麗大学校歴史研究所＞71、2010年9月、197-220頁）
・ 「「韓国併合」100年と兵庫－「植民地責任」から考える」『ひょうご部落解放』Vol.139、2010年12月25日、128～142頁。
・ 「戦後の日本と韓国・北朝鮮－その1－国交回復への道」『女のしんぶん』2010年5月25日、「戦後の日本と韓国・北朝鮮－その2－日韓条約をめぐる問題」『女のしんぶん』2010年6月10日、「戦後の日本と韓国・北朝鮮－その3－国交のない日朝関係」『女のしんぶん』2010年6月25日